



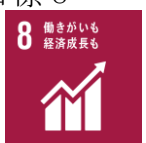








1 尼崎 21 世紀の森づくり行動計画における SDGs（持続可能な開発目標）の目標一覧





SDGs（持続可能な開発目標）の目標		尼崎 21 世紀の森づくり行動計画における改訂の視点
<p>目標 3</p> 	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	散策、ジョギング、各種のスポーツなど、心身にやすらぎと充足感を与える活動を通じて、子どもから高齢者まで健康で豊かな生活を実現することを目指す。
<p>目標 4</p> 	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	身近な自然とのふれあいを通じて、公園を幼児が安心して遊べる場、子育て世代の交流を促す場、子どものチャレンジ精神を育む場として活用することを目指す。
<p>目標 6</p> 	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	尼崎の森中央緑地における給水設備や雨水池への工業用水の補給、また丸島地区における下水道施設の拡張整備を目指す。
<p>目標 7</p> 	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	生物多様性の森づくりや森の利活用など、先進的な取組の成果を森構想区域に留まらず、区域外にも展開し、広域的によりよい環境づくりに貢献することを目指す。
<p>目標 8</p> 	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する	尼崎の森中央緑地を工場等で働く人々の交流の場として活用し、産業振興や地域の活力再生につなげることを目指す。

SDGs（持続可能な開発目標）の目標		尼崎 21 世紀の森づくり行動計画における改訂の視点
目標 9 	強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	臨海地域の資源である運河を活用したまちづくり活動やこれを支える組織づくりが進展するとともに、工場緑化推進のための指針作成や支援制度の運用・拡充も実施しており、これらを継続・発展させることを目指す。
目標 11 	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	尼崎の森中央緑地を工場等で働く人々の交流の場として活用し、産業振興や地域の活力再生につなげるなど新しい視点からの取組を目指す。
目標 14 	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	尼崎運河では、市民団体や大学等が連携した水質浄化活動や環境体験学習、イベント開催により、水質浄化や運河再生が進展している。中央緑地でも利活用を促進し、臨海地域へのアクセス向上のため、さらなる取組を目指す。
目標 15 	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	尼崎の森中央緑地において、多様な主体の参画による生物多様性の森づくりと環境学習やイベント開催など利活用の取組が着実に進展している。今後も、活動内容の PR 等により、森づくりに携わる人材や組織の確保を目指す。
目標 17 	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	各種の広報活動により、森づくりの PR と気運の醸成が進展するとともに、森の会議の設置により、森づくり活動の輪が広がりつつある。多様な主体による森構想のさらなる推進をめざして、市民や企業などのより幅広い参画を促すための仕組みづくりや新たな事業の展開を目指す。


2 目標ごとの取組内容

目標 3.	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	
尼崎 21 世紀 の森づくり 行動計画  環境 都市再生	取組 B-カ [継続] 市によるニイモ復活プロジェクト [○] [継続] 尼崎南部再生研究室によるニイモ奉納祭 [○] [継続] 尼崎鉄工団地協同組合による蜂蜜 (ニみつ) の生産 [○] B-キ [継続] 尼崎スポーツの森の運営と活用 [○] [継続] 尼っ子リンリンロードなどを活用したサイクル利用の拡大 [○] [新規] レンタサイクルやコミュニティサイクルなど、中央緑地と最寄駅を結ぶサイクル利用のしくみづくり [○] [新規] 大芝生広場を活用した森の運動会の開催 [○]	具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・食としてのニイモの活用方法の検討。 ・年 1 回ニイモ奉納祭を実施。 ・平成 22 年度から令和元年度まで 3,631 kg を採蜜。尼崎ブランドとして市内で販売。 <ul style="list-style-type: none"> ・延べ約 582 万人 (令和元年 12 月末) が利用。 ・平成 29 年度よりサイクルロゲイニングを実施。(3 回) ・サイクルポートを 18 か所設置 (尼崎市)。西宮から大阪まで利用エリアが拡大。 ・平成 27 年度より年 1 回開催。
目標 4.	すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	
尼崎 21 世紀 の森づくり 行動計画	取組 B-オ [継続] 未就学児の親子を対象とした「森の子育てひろば」等の実施 [○]	具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・森の子育てひろば : 年 1 回、20 組の親子を対象


 <p>4 質の高い教育を みんなに</p>	<p>[新規] 乳幼児が安全に土や植物と触れ合える公園づくり（オーガニックガーデンづくり） [○]</p> <p>D-コ</p> <p>[継続] 「かんきょうモデル都市あまがさき探検事業」による小学4年生の環境学習等において体験プログラムを実施 [○]</p> <p>[継続] 尼崎市の小学校等での環境体験学習や緑化指導 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地で尼崎市の小学3・4年生、中学・高校生を対象とした環境学習プログラムの実施 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度より茅葺民家周辺で「かやぶき民家友の会」による無農薬の畑づくりを実施。 ・あまがさき探検事業（小学校4年生対象） 【平成30年度：35校、3,151人】 ・環境体験学習（小学校3年生） 【平成30年度：10校、623人】 ・その他、幼稚園児、小学生、中学・高校生の環境学習【平成30年度：697人】
<p>環境 都市再生</p>	<p>A-ウ</p> <p>[継続] エコキッズメッセの開催 [○]</p> <p>[継続] エコキッズメッセ等における低公害車のPR [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から企業の協力により、中央緑地で5回開催。 ・企業2社の協力による低公害車のしくみの解説。


<p>目標 6.</p>	<p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	
<p>尼崎 21 世紀 の森づくり 行動計画</p>  <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>	<p>取組</p> <p>A-ア</p> <p>[新規] 大芝生広場周辺での遊具、ベンチ、緑陰樹の整備 [○]</p> <p>[継続] 下水道施設の拡張計画を踏まえた自然生態保全育成の森づくりの検討 [○]</p> <p>C-ケ</p> <p>[新規] 雨水池への工業用水の補給（中央緑地の港湾緑地部）</p>	<p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の森中央緑における給水設備の整備。 ・丸島地区における下水道施設の拡張整備。 ・渇水時等必要に応じて補給。

環境	[○]	
----	-----	--


目標 7.	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する	
尼崎 21 世紀 の森づくり 行動計画  都市再生 産業	取組 A-ウ [継続] 中央緑地（学習棟・作業棟）、フェニックス事業用地等における太陽光発電施設の稼働 [○] [継続] 中央緑地における風力発電装置エウロスの稼働 [○]	具体的な内容 ・フェニックス事業用地： 11,000,000 kwh/年（一般家庭 約 3,000 世帯分） 尼崎スポーツの森：43,924kwh/年【平成 30 年度】 尼崎の森中央緑地：36,497kwh/年【平成 30 年度】 ・7 基設置。
	B-ク [継続] 太陽光発電施設による暫定的利用 [○]	・<再掲>フェニックス事業用地：11,000,000 kwh/年（一般家庭 約 3,000 世帯分） 尼崎スポーツの森：43,924kwh/年【平成 30 年度】 尼崎の森中央緑地：36,497kwh/年【平成 30 年度】
	B-オ [継続] 中央緑地（学習棟・作業棟）、フェニックス事業用地等における太陽光発電施設の稼働 [○] [継続] 中央緑地における風力発電装置エウロスの稼働 [○] [継続] 燃料電池自動車の公用車への利用、商用水素ステーションの充実 [○]	・<再掲> 7 基設置。 ・水素ステーションの設置。（尼崎市市内）

目標 8.	包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と適切な雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	
尼崎 21 世紀 の森づくり	取組	具体的な内容
	A-イ	

<p>行動計画</p>  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>産業</p>	<p>[継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森“において、除草・間伐活動を行う。 森のフェスタで企業の従業員や家族の参加を目指して企業PRブースを設置。
--	-------------------------------------	---

<p>目標 9.</p>	<p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図</p>	
<p>尼崎 21 世紀 の森づくり 行動計画</p>  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> <p>産業 多様な主体</p>	<p>取組</p> <p>A-ア [継続] 企業による環境再生の取組を子供たちに伝えるエコキッズメッセの開催 [○]</p> <p>A-イ [継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○] [新規] 企業の福利厚生事業の中央緑地における実施 [×]</p> <p>B-オ [継続] 水素社会実現に向けたセミナーの開催、水素関連産業市場への企業参入支援 [○]</p> <p>B-カ</p>	<p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。 <再掲>平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森“において、除草・間伐活動を行う。 <再掲>森のフェスタで企業の従業員や家族の参加を目指して企業PRブースを設置。 構想エリア内に立地する企業が、尼崎の森緑地で運動会（福利厚生事業）の開催を検討中。 平成 27・28 年度セミナーを開催。

	[継続] 環境改善に寄与する地域の優れた技術や製品・工法、取組などを表彰する「あましんグリーンプレミアム」の実施 [○]	・平成 23 年度から 8 回実施。
	A-ウ [継続] エコキッズメッセへの企業の出展 [○]	・ <再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。


目標 11.	包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する	
尼崎 21 世紀の森づくり行動計画	取組	具体的な内容
 環境 都市再生 産業 多様な主体	B-ウ [継続] 尼崎運河再生プロジェクト基本計画にもとづく環境整備 [○] [継続] 北堀運河等における桜並木整備とシンボルツリー植樹 [○] [継続] 地域との連携による緑化 [○]	・水質浄化の拠点施設の整備。（チャンネルベース） ・ライオンズクラブからの桜の植樹など「桜並木等」を整備。 ・成良中学等と連携した運河沿いの緑化の実施。 ・生垣などによる緑化により延焼防止を防ぐなど災害に強いまちづくりへの取組。
	B-キ [継続] 緑地帯整備（北堀運河等） [○] [継続] 企業によるセットバック緑化 [○]	A-ア [継続] 森の会議の活動を通じての情報収集 [○] [継続] チャンネルウォークの定期開催 [○]
	A-イ [継続] 尼崎 21 世紀の森型工場緑化の運用 [○]	

	<p>[継続] 工場緑化を支援する制度の活用（県民まちなみ緑化事業等） [○]</p> <p>[継続] 工場緑化等の推進に関する市条例の適用 [○]</p> <p>[新規] 工場・事業所の参画を得た「工場緑化のあり方検討会（仮）」の設置 [○]</p> <p>[新規] 事業者による緑化の取組を推進する新たなしくみづくり [○]</p> <p>[新規] 中央緑地へ誘導する自転車・歩行者用の案内サイン等の設置、市民憩いの場（欄干デザイン等）の整備 [○]</p> <p>[継続] 水質浄化施設及び北堀キャナルベースを活用した、尼崎運河博覧会、運河クルージング、SUP 体験会、オープンキャナルデイ、オープンキャナルフェスティバル等の開催 [○]</p> <p>[新規] 全国運河サミットの開催 [○]</p> <p>[継続] 徳島大学、県、市による「尼崎運河における水環境改善等の推進についての連携協力に関する協定」の運用 [○]</p> <p>[継続] 北堀運河の水質浄化施設とキャナルベースを活用した水質浄化研究や環境体験学習の受入れ [○]</p> <p>[継続] 阪神出屋敷駅と中央緑地を結ぶバスの運行およびバス事業者への事業費の一部補助 [△～H29]</p> <p>[継続] 尼っこリンリン・ロードなどを活用したサイクル利用の拡大 [○]</p> <p>[新規] レンタサイクルやコミュニティサイクルなど中央緑地と最寄り駅を結ぶサイクル利用のしくみづくり [○]</p>	<p>用した緑化の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用企業 3 件。 ・平成 29 年度開催。 ・「緑と水辺を育む賞」の創設。 平成 30 年度 6 社 令和元年度 4 社 受賞 ・花緑による美しいまちなみづくり、沿道景観づくりを実施。 ・新たにキャナルフライデーを開催。 ・全国運河サミット in 尼崎 2018 の開催。 ・協定の締結により、研究機関との連携を強化。 ・平成 30 年度合計 2,576 人を受入れ。 ・イベント時の臨時バス運行など交通手段の確保。 ・<再掲>平成 29 年度よりサイクルロゲイニングを実施。(3 回) ・<再掲>サイクルポートを 18 か所設置（尼崎市市内）。西宮から大阪まで利用エリアが拡大。
--	---	---

	<p>B-エ</p> <p>[継続] 地元企業・団体・学校等と連携した尼崎運河博覧会、オープンチャンネルフェスティバル等の開催 [○]</p> <p>[継続] 運河における SUP 体験会や尼崎チャンネルガイドの会の活動の実施 [○]</p> <p>[継続] 地元住民や団体の交流の場となる森の会議の開催 [○]</p> <p>[新規] 全国運河サミットの開催 [○]</p> <p>B-カ</p> <p>[継続] 産業遺産である尼崎運河のPRとして尼崎運河博覧会、運河クルージングを実施 [○]</p> <p>[継続] パンフレット「阪神南近代化産業遺産物語」による運河網をはじめとする産業遺産の紹介 [○]</p> <p>[新規] であい橋のライトアップ等による運河の魅力発信 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地でのあましん植樹祭の実施 [○]</p> <p>[新規] スポーツイベント、打上げ花火等の実施（中央緑地の港湾緑地部） [○]</p> <p>B-ク</p> <p>[継続] 大芝生広場等を活用したイベントの開催（ダンスフェスティバル、森のマルシェ、パークヨガ、アジリティ等） [○]</p> <p>[継続] 森やみなの花野を活用したイベントの開催（昆虫採取イベント、郷土種ガーデニングコンテスト等） [○]</p> <p>[新規] 地元自治会等と連携した森の文化祭の開催、広々とした空間を活用した森の運動会、ホースセラピー、凧揚げ大会等の実施 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>新たにチャンネルフライデーを開催。 ・ <再掲>チャンネルウォークを平成 26 年度から年間平均 5 回程度開催。 ・ 月 1 回森の会議を継続開催。 ・ <再掲>全国運河サミット in 尼崎 2018 の開催 ・ 全国運河サミット in 尼崎 2018、チャンネルフライデー等の開催により、尼崎運河をはじめとする地域の貴重な産業遺産の魅力を発信。 ・ であい橋ライトアップによる運河の魅力を発信。 ・ 平成 22 年度から令和元年度まで 9 回開催。 ・ 平成 28 年度からスポーツフェスタを開催、打上げ花火を 2 回実施。 ・ 森のマルシェ、ヨガ、昆虫採取、ガーデニング、森の文化祭など多様なイベントを開催。（年 1 回） ・ 森の文化祭、尼崎モリニックなど年 1 回開催。
--	---	---

	<p>[継続] 野球場、多目的広場等を活用したスポーツ・レクリエーション機能の確保 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丸島地区において野球場、多目的広場等を整備
	<p>A-ア</p> <p>[継続] ニロック内に設けた展示室を活用したニロックや運河等の地域資源の学習 [○]</p> <p>[継続] 津波等の防災学習 [○]</p> <p>[継続] 尼崎運河〇〇クラブによるまちづくり活動 [○]</p> <p>[継続] 尼崎運河博覧会、運河クルージング、尼崎運河オープンチャンネルフェスティバル等の開催 [○]</p> <p>[新規] 全国運河サミットの開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎運河博覧会、運河クルージング、尼崎運河オーキナルフェスティバル、尼崎ぱーちー等の開催 [○]</p> <p>[継続] 企業による環境再生の取組を子供たちに伝えるエコキッズメッセの開催 [○]</p> <p>A-ウ</p> <p>[新規] 工場・事業所の参画を得た「工場緑化のあり方検討会(仮)」の設置 [○]</p> <p>[継続] 尼崎鉄工団地協同組合と連携した工場のすき間緑化 [○]</p> <p>[継続] 工場緑化を支援する制度の活用(県民まちなみ緑化事業等) [○]</p> <p>[継続] 工場緑化等の推進に関する市条例の適用、尼崎 21 世紀の森型工場緑化ガイドブックによる企業への指導 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニロックフェスティバルを平成 29 年度から 3 回開催。 ・月 1 回オープンチャンネルデーを開催。 ・<再掲>新たにチャンネルフライデーを開催。 ・<再掲>全国運河サミット in 尼崎 2018。 ・<再掲>新たにチャンネルフライデーを開催。 ・<再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。 ・<再掲>平成 29 年度 1 回開催。 ・<再掲>尼崎 21 世紀の森型工場緑化ガイドブックを活用した緑化の推進。 ・<再掲>活用企業 3 件 ・事業実施時に指導。

	[新規] 事業者による緑化の取組を推進する新たなしくみづくり [○]	・<再掲>森のフェスタで企業の従業員や家族の参加を目指して企業PRブースを設置。
	A-エ [新規] 森の子育てひろばの甲山森林公園や芦屋市総合公園への展開 [○]	・尼崎の森中央緑地での取組を甲山森林公園や芦屋市総合公園へ展開。


目標 14.	持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する	
尼崎 21 世紀の森づくり行動計画	取組	具体的な内容
 <p>環境 都市再生 産業 多様な主体</p>	A-ア [継続] 大学等と連携した海藻類の堆肥化と港湾緑地における菜の花育成 [○]	・徳島大学、成良中学、尼海の会との連携による堆肥を使った菜の花の栽培。
	B-イ [継続] 動植物モニタリング調査の実施 [○]	・定点観測、モニタリング調査により情報を蓄積中央緑地の森づくりに反映。
	B-ウ [継続] 尼崎運河再生プロジェクト基本計画にもとづく環境整備 [○]	・<再掲>水質浄化の拠点施設の整備。(キャナルベース)
	[継続] 北堀運河等における桜並木整備とシンボルツリー植樹 [○]	・<再掲>ライオンズクラブからの桜の植樹など「桜並木等を整備。
	[継続] 地域との連携による緑化 [○]	・<再掲>成良中学等と連携した運河沿いの緑化の実施。
B-ク [継続] 人工干潟の設置及び活用(北堀運河の水質浄化施設) [○]	・干潟のもつ水質浄化や生物育成の効果を伝える	

	<p>C-ケ [新規] 雨水池への工業用水の補給（中央緑地の港湾緑地部） [○]</p>	<p>環境学習を実施。＜再掲＞平成 30 年度合計 2,576 人を受入れ。 ・中央緑地において雨水池の設置。</p>
	<p>A-ア [継続] キャナルウォークの定期開催 [○]</p> <p>A-イ [継続] 水質浄化施設及び北堀キャナルベースを活用した、尼崎運河博覧会、運河クルージング、SUP 体験会、オープンキャナルデイ、オープンキャナルフェスティバル等の開催 [○] [新規] 全国運河サミットの開催 [○] [継続] 徳島大学、県、市による「尼崎運河における水環境改善等の推進についての連携協力に関する協定」の運用 [○] [継続] 北堀運河の水質浄化施設とキャナルベースを活用した水質浄化研究や環境体験学習の受入れ [○]</p> <p>B-エ [継続] 地元企業・団体・学校等と連携した尼崎運河博覧会、オープンキャナルフェスティバル等の開催 [○] [継続] 運河における SUP 体験会や尼崎キャナルガイドの会の活動の実施 [○] [継続] 地元住民や団体の交流の場となる森の会議の開催 [○] [新規] 全国運河サミットの開催 [○]</p> <p>B-オ [継続] 尼崎キャナルガイド養成講座の開催 [○]</p>	<p>・＜再掲＞キャナルウォークを平成 26 年度から年間平均 5 回程度開催。</p> <p>・＜再掲＞新たにキャナルフライデーを開催。</p> <p>・＜再掲＞全国運河サミット in 尼崎 2018 の開催 ・＜再掲＞協定の締結により、研究機関との連携を強化。 ・＜再掲＞平成 30 年度合計 2,576 人を受入れ。</p> <p>・＜再掲＞キャナルウォークを平成 26 年度から年間平均 5 回程度開催。 ・＜再掲＞月 1 回オープンキャナルデーを開催。</p> <p>・＜再掲＞月 1 回森の会議を継続開催。 ・＜再掲＞全国運河サミット in 尼崎 2018 の開催 ・年 1 回開催。（3 回連続講座）</p>

	<p>[継続] 尼崎チャンネルガイドの会の活動 [○]</p> <p>B-カ</p> <p>[継続] 産業遺産である尼崎運河のPRとして尼崎運河博覧会、運河クルージングを実施 [○]</p> <p>[新規] であい橋のライトアップ等による運河の魅力発信 [○]</p> <p>B-キ</p> <p>[継続] 尼っ子リンリンロードなどを活用したサイクル利用の拡大 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>チャンネルウォークを平成 26 年度から年間平均 5 回程度開催。 ・ <再掲>新たにチャンネルライダーを開催。 ・ <再掲>であい橋ライトアップによる運河の魅力を発信。 ・ <再掲>平成 29 年度よりサイクルロゲイニングを実施。(3 回)
	<p>A-ア</p> <p>[継続] 尼ロック内に設けた展示室を活用した尼ロックや運河等の地域資源の学習 [○]</p> <p>[継続] 津波等の防災学習 [○]</p> <p>[継続] 尼崎運河〇〇クラブによるまちづくり活動 [○]</p> <p>[継続] 尼崎運河博覧会、運河クルージング、尼崎運河オープンチャンネルフェスティバル等の開催 [○]</p> <p>[新規] 全国運河サミットの開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎運河博覧会、運河クルージング、尼崎運河オープンチャンネルフェスティバル、尼崎ぱーちー等の開催 [○]</p> <p>[継続] 企業による環境再生の取組を子供たちに伝えるエコキッズメッセの開催 [○]</p>	<p>-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>尼ロックフェスティバルを平成 29 年度から 3 回開催。 ・ <再掲>月 1 回オープンチャンネルデーを開催。 ・ <再掲>新たにチャンネルライダーを開催。 ・ <再掲>全国運河サミット in 尼崎 2018。 ・ <再掲>新たにチャンネルライダーを開催。 ・ <再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。
	<p>A-ア</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森 CI 計画 (ロゴタイプ、マーク、アイキャッチャー、基本カラー等) に基づく広報活動の実施 [○]</p> <p>A-イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成と多様な媒体を通じた活用により、尼崎 21 世紀の森づくりの認知度を高めた。

	<p>[継続] フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」の発行 [○] [継続] 県・市・NPO法人尼崎 21 世紀の森等によるホームページの更新 [○] [継続] 缶バッジ、キーホルダー等のPRグッズの作成 [○] [継続] 森をイメージしたエコバッグの作成 [○]</p> <p>A-ウ</p> <p>[継続] 企業協賛型の取組（フリーペーパー「Aa」の発行） [○] [継続] エコキッズメッセへの企業の出展 [○]</p> <p>[継続] 森づくりに関わった人材、団体のデータベース化 [○]</p> <p>[継続] 「森の会議」の開催 [○]</p> <p>B-オ</p> <p>[継続] メーリングリスト、ホームページによる情報共有 [○] [継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンを通しての情報共有 [○] [継続] 森の会議におけるワークショップ等の開催 [○]</p> <p>B-キ</p> <p>[新規] クラウドファンディング活用の検討 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Aa（年 2 回発行）、森のしんぶん（年 4 回発行） ・ 森のウェブマガジン等により広く情報発信。 ・ PR グッズ等の作成・配布により、森づくりに関わる人を増やすことができた。 ・ Aa（年 2 回）等各種広報誌を作成。 ・ <再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。 ・ ワークショップ、フォーラム等の開催により、森づくりに関わる人材等のデータ化ができた。 ・ <再掲>月 1 回森の会議を継続開催。 ・ 森の会議等の開催予定をウェブで公開、参加者の情報入手が容易になった。 ・ 勉強会等を通じて活動の前提となる基礎知識を共有化。 ・ 「森の自由研究フェスティバル」がクラウドファンディングにより活動費を確保。
--	--	---

目標 15.	陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失を阻止する	
尼崎 21 世紀	取組	具体的な内容

<p>の森づくり 行動計画</p>  <p>環境 都市再生 産業 多様な主体</p>	<p>A-ア</p> <p>[継続] はじまりの森、パークセンター、大芝生広場等の供用 [○]</p> <p>[継続] 県民、企業等の参画による植樹 [○]</p> <p>[継続] 小学生を中心とした環境学習や「森の会議」による県民提案型イベント、昆虫採取イベント等の実施 [○]</p> <p>[新規] 尼崎藩ゆかりの茅葺き民家の移築と里山体験プログラムの実施 [○]</p> <p>[新規] 港湾緑地（第3工区）への森づくりの拡大 [○]</p> <p>[新規] 大芝生広場周辺での遊具、ベンチ、緑陰樹の整備 [○]</p> <p>[継続] 野球場、多目的広場等の施設の整備・供用 [○]</p> <p>[継続] 下水道施設の拡張計画を踏まえた自然生態保全育成の森づくりの検討 [○]</p> <p>[継続] 大学等と連携した海藻類の堆肥化と港湾緑地における菜の花育成 [○]</p> <p>[継続] 埋立地の利用計画を踏まえた自然生態保全育成の森づくりの検討 [○]</p> <p>A-イ</p> <p>[継続] 尼崎の森中央緑地植栽計画に基づく森づくり [○]</p> <p>[継続] 専門家による中央緑地緑化技術検討会の開催 [○]</p> <p>[継続] 森づくり体験講座等の開催 [○]</p> <p>[継続] 「はじまりの森」の定点観測の実施 [○]</p> <p>[継続] 動植物モニタリング調査の実施 [○]</p> <p>B-ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二工区における植樹エリアの森が成長するなど、森づくり活動が順調に推移。 ・尼崎モリンピック、虫取り名人などのイベントを開催。（各年1回開催） ・令和元年度より畑づくりプログラム、昔の生活体験プログラムなど実施。 ・港湾緑地（第3工区）の整備中。 ・尼崎の森中央緑地パークセンター南側に遊具、ベンチ等を整備。 ・丸島地区で整備・供用済み。 ・＜再掲＞下水道施設の拡張。 ・＜再掲＞徳島大学、成良中学、尼海の会との連携による堆肥を使った菜の花の栽培。 ・埋立地の利用計画を踏まえた自然生態保全育成の森づくりを検討。 ・緑化技術検討会、各種講座の開催により、中央緑地の生物多様性の森づくりが進展。 ・平成27年よりアマフォレストの会により開催。 ・定点観測、モニタリング調査により情報を蓄積中央緑地の森づくりに反映。
---	--	--

	<p>[継続] 地域との連携による緑化 [○] [継続] 道路整備計画に伴う緑化の実施 [○] B-エ [継続] 尼崎市の小学校等での環境体験学習や緑化指導 [○] [継続] 中央緑地で尼崎市の小学3、4年生等を対象とした環境学習の受け入れ、「あまがさき森っこ活動」の実施 [○] [継続] 学校単位での苗木の里親への参加 [○]</p> <p>[継続] 尼崎鉄工団地協同組合と連携した工場のすき間緑化 [○] [継続] 企業による工場敷地緑化 [○]</p> <p>B-オ [新規] 乳幼児が安全に土や植物と触れ合える公園づくり（オーガニックガーデンづくり） [○]</p> <p>B-カ [継続] 市によるニイモ復活プロジェクト [○] [継続] 尼崎南部再生研究室によるニイモ奉納祭 [○] [継続] 尼崎鉄工団地協同組合による蜂蜜（尼みつ）の生産 [○]</p> <p>[新規] 中央緑地の茅葺き民家周辺などでのニイモ等の栽培 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<再掲>成良中学等と連携した運河沿いの緑化や、企業と連携した尼宝線などの道路緑化 ・<再掲>あまがさき探検事業（小学校4年生対象）【平成30年度：35校、3,151人】 ・<再掲>環境体験学習（小学校3年生）【平成30年度：10校、623人】 ・<再掲>その他、幼稚園児、小学生、中学・高校生の環境学習【平成30年度：697人】 ・<再掲>尼崎21世紀の森型工場緑化ガイドブックを活用した緑化の推進。 ・<再掲>令和元年度より茅葺民家周辺で「かやぶき民家友の会」による無農薬の畑づくりを実施。 ・<再掲>食としてのニイモの活用方法の検討。 ・<再掲>年1回ニイモ奉納祭を実施。 ・<再掲>平成22年度から令和元年度まで3,631kgを採蜜。尼崎ブランドとして市内で販売。 ・令和元年度より茅葺民家周辺で「かやぶき民家友の会」によるニイモなど伝統野菜の畑づくりを実施。
--	--	---

	<p>[継続] 剪定木等を燃料に利用する薪ストーブの活用（中央緑地パークセンター） [○]</p> <p>[新規] 茅葺き民家の移築復原や炭焼き小屋、里庭、畑等の整備（中央緑地） [○]</p> <p>B-キ</p> <p>[継続] 緑地帯整備（北堀運河等） [○]</p> <p>[継続] 企業によるセットバック緑化 [○]</p> <p>B-ク</p> <p>[新規] 雨水池の整備、湿地性植物の導入（中央緑地の港湾緑地部） [○]</p> <p>C-ケ</p> <p>[新規] 雨水池への工業用水の補給（中央緑地の港湾緑地部） [○]</p> <p>[継続] 循環型の土壌づくり（のびのび公園） [○]</p> <p>[継続] 貝殻をつぶして作った土壌による野菜づくり（成良中学校） [○]</p> <p>[継続] 県民、企業・団体等の参画による地域産種子からの苗づくり（中央緑地） [○]</p> <p>[継続] 県民、企業・団体等の参画による苗木の里親制度の運営 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央緑地で間伐材の有効活用のモデルとして薪ストーブを使用。 ・平成 30 年度整備済。 ・<再掲>成良中学等と連携した運河沿いの緑化や、企業と連携した尼宝線などの道路緑化 ・公共用地や工場敷地の緑化により、震災時の延焼やコンクリート塀の倒壊による災害の防止など、防災力向上に貢献。 ・尼崎の森中央緑地に雨水池を整備。 ・渇水時等所要時に補給。 ・<再掲>徳島大学、成良中学、尼海の会との連携による堆肥を使った菜の花の栽培。 ・県立有馬富士公園などで種子採取を行い、中央緑地で地域産種子を用いた森づくりが順調に進展。 ・平成 21 年より苗木の里親制度の取組を実施。
--	---	---

	<p>[継続] 剪定木等を燃料に利用する薪ストーブの活用（中央緑地パークセンター） [○]</p> <p>[新規] 増加が見込まれる間伐材の有効活用方策の検討（中央緑地） [○]</p> <p>D-コ</p> <p>[継続] 森づくり定例活動等における見学会や種子採取、「森づくり体験講座」の実施 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地における森づくり定例活動 [○]</p> <p>[継続] 「かんきょうモデル都市あまがさき探検事業」による小学4年生の環境学習等において体験プログラムを実施 [○]</p> <p>[継続] 植樹会等へ参加した県民や企業へのアマフォレストの会による指導 [○]</p> <p>[継続] アマフォレストの会による森づくり体験講座の開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎信用金庫による「苗木の里親案内人」の養成 [○]</p> <p>[継続] 森づくりや環境学習の指導者を養成するサポーター養成講座 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地における森づくり定例活動、エリア設定型森づくり活動及び苗木の里親植樹会 [○]</p> <p>[継続] 尼崎信用金庫と県による森づくりの推進に関する協定の運用 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央緑地で間伐材の有効活用のモデルとして薪ストーブを使用。 ・茅葺民家における釜戸での活用や尼崎モリニックの競技での活用。 ・県立有馬富士公園などで種子採取、平成 27 年度より「アマフォレストの会による森づくりの指導や講座開催により、参加者が一定の知識・技能を習得。 ・月 2 回の森づくり定例活動を開催。 ・<再掲>あまがさき探検事業（小学校 4 年生対象）【平成 30 年度：35 校、3,151 人】 ・各種イベントやプログラム運営時に実施 ・<再掲>平成 27 年よりアマフォレストの会により開催 ・森づくり定例活動、エリア型提携森づくり活動等の導入により、住民・企業・団体が継続的に維持管理に参画。 ・<再掲>月 2 回の森づくり定例活動。 ・<再掲>平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森“において、除草・間伐活動を行う。
--	--	--

	<p>[新規] 尼崎の森ファミリークラブの設置（中央緑地）[○]</p> <p>[継続] アマフォレストの会などの活動と連携した生物多様性の森づくり [○]</p> <p>[継続] 人と自然の博物館による栽培実績の少ない植物の栽培研究および土壌等の基礎的データの提供 [○]</p> <p>[継続] 尼崎市の小学校等での環境体験学習や緑化指導 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地で尼崎市の小学3・4年生、中学・高校生を対象とした環境学習プログラムの実施 [○]</p> <p>D-サ</p> <p>[継続] 森づくりフォーラムや中央緑地での植樹会、各種イベントの開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等による PR [○]</p> <p>D-シ</p> <p>[継続] 県ホームページ、尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンによる情報提供 [○]</p> <p>[継続] 「はじまりの森」の定点観測、動植物モニタリング調査 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地における GIS を活用した苗木植栽図の整理 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲> 尼崎の森ファミリークラブ植樹会：年 1 回、40 組の親子を対象 ・ <再掲> 月 2 回の森づくり定例活動を開催。 ・ 苗木育成に必要な土壌データを収集。 ・ <再掲> あまがさき探検事業（小学校 4 年生対象）【平成 30 年度：35 校、3,151 人】 ・ <再掲> 環境体験学習（小学校 3 年生）【平成 30 年度：10 校、623 人】 ・ <再掲> その他、幼稚園児、小学生、中学・高校生の環境学習【平成 30 年度：697 人】 ・ 植樹会の開催や虫取り名人等のイベントの開催により、森づくりに関わる人の輪を拡大。 ・ <再掲> Aa（年 2 回発行）、森のしんぶん（年 4 回発行） ・ 尼崎 21 世紀の森づくりに係る各種資料や活動内容を HP で紹介、アクセス可能な情報として蓄積。 ・ <再掲> 定点観測、モニタリング調査により情報を蓄積中央緑地の森づくりに反映。 ・ <再掲> 中央緑地の苗木植栽図について GIS を
--	---	--

		活用し、情報整理。
	<p>A-ア</p> <p>[継続] 森の会議の活動を通じての情報収集 [○]</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンへのまちの情報の投稿 [○]</p> <p>[継続] フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等の発行 [○]</p> <p>A-イ</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森型工場緑化の運用 [○]</p> <p>[継続] 工場緑化を支援する制度の活用（県民まちなみ緑化事業等） [○]</p> <p>[継続] 工場緑化等の推進に関する市条例の適用 [○]</p> <p>[新規] 工場・事業所の参画を得た「工場緑化のあり方検討会（仮）」の設置 [○]</p> <p>[新規] 事業者による緑化の取組を推進する新たなしくみづくり [○]</p> <p>[新規] 中央緑地へ誘導する自転車・歩行者用の案内サイン等の設置、市民憩いの場（欄干デザイン等）の整備 [○]</p> <p>A-ウ</p> <p>[継続] 剪定木等を燃料に利用する薪ストーブの活用（中央緑地パークセンター） [○]</p> <p>[新規] 増加が見込まれる間伐材の有効活用方策の検討（中央緑地） [○]</p> <p>[継続] 循環型の土壌づくり（のびのび公園） [○]</p>	<p>・得られた情報等をもとに、森のウェブマガジンにより、臨海地域の魅力を発信。</p> <p>・＜再掲＞Aa（年 2 回発行）、森のしんぶん（年 4 回発行）</p> <p>・＜再掲＞尼崎 21 世紀の森型工場緑化ガイドブックを活用した緑化の推進。</p> <p>・＜再掲＞活用企業 3 件。</p> <p>・＜再掲＞平成 29 年度開催。</p> <p>・＜再掲＞「緑と水辺を育む賞」の創設。 平成 30 年度 6 社 令和元年度 4 社 受賞</p> <p>・＜再掲＞花緑による美しいまちなみづくり、沿道景観づくりを実施。</p> <p>・＜再掲＞中央緑地で間伐材の有効活用のモデルとして薪ストーブを使用。</p> <p>・＜再掲＞茅葺民家における釜戸での活用や尼崎モリンピックの競技での活用。</p> <p>・＜再掲＞徳島大学、成良中学、尼海の会との連</p>

	<p>[継続] 貝殻をつぶして作った土壌による野菜づくり（成良中学校） [○]</p> <p>B-カ</p> <p>[継続] 中央緑地でのあましん植樹祭の実施 [○]</p> <p>[新規] スポーツイベント、打上げ花火等の実施（中央緑地の港湾緑地部） [○]</p> <p>B-キ</p> <p>[継続] 尼崎スポーツの森の運営と活用 [○]</p> <p>[継続] 尼っ子リンリンロードなどを活用したサイクル利用の拡大 [○]</p> <p>[新規] レンタサイクルやコミュニティサイクルなど、中央緑地と最寄駅を結ぶサイクル利用のしくみづくり [○]</p> <p>[新規] 大芝生広場を活用した森の運動会の開催 [○]</p> <p>B-ク</p> <p>[継続] 大芝生広場等を活用したイベントの開催（ダンスフェスティバル、森のマルシェ、パークヨガ、アジリティ等） [○]</p> <p>[継続] 森やみなの花野を活用したイベントの開催（昆虫採取イベント、郷土種ガーデニングコンテスト等） [○]</p> <p>[新規] 地元自治会等と連携した森の文化祭の開催、広々とした空間を活用した森の運動会、ホースセラピー、凧揚げ大会等の実施 [○]</p> <p>[継続] 野球場、多目的広場等を活用したスポーツ・レクリエーション機能の確保 [○]</p>	<p>携による堆肥を使った菜の花の栽培。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>平成 22 年度より年 1 回開催。 ・ <再掲>平成 28 年度からスポーツフェスタを開催、打上げ花火を 2 回実施。 ・ ダンス、太極拳など子どもから高齢者までが健康づくりに取り組めるプログラムを提供。 ・ <再掲>平成 29 年度よりサイクルロゲイニングを実施。（3 回） ・ <再掲>サイクルポートを 18 か所設置（尼崎市市内）。西宮から大阪まで利用エリアが拡大。 ・ <再掲>平成 27 年度より年 1 回開催。 ・ <再掲>森のマルシェ、ヨガ、昆虫採取、郷土種ガーデニング、森の文化祭など多様なイベントを開催。（年 1 回） ・ <再掲>森の文化祭、尼崎モリニックなど年 1 回開催。 ・ <再掲>丸島地区において野球場、多目的広場等を整備
--	---	--

	<p>A-イ [継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○]</p> <p>A-ウ [新規] 工場・事業所の参画を得た「工場緑化のあり方検討会(仮)」の設置 [○] [継続] 尼崎鉄工団地協同組合と連携した工場のすき間緑化 [○]</p> <p>[継続] 工場緑化を支援する制度の活用(県民まちなみ緑化事業等) [○] [継続] 工場緑化等の推進に関する市条例の適用、尼崎 21 世紀の森型工場緑化ガイドブックによる企業への指導 [○] [新規] 事業者による緑化の取組を推進する新たなしくみづくり [○]</p> <p>B-カ [継続] 森構想に関する工場・事業所の意向を把握するためのアンケート調査等の実施 [○] [継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、 「森のしんぶん」等による情報発信 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森“において、除草・間伐活動を行う。 ・ <再掲>平成 29 年度 1 回開催。 ・ <再掲>尼崎 21 世紀の森型工場緑化ガイドブックを活用した緑化の推進。 ・ <再掲>活用企業 3 件 ・ <再掲>事業実施時に指導。 ・ <再掲>森のフェスタで企業の従業員や家族の参加を目指して企業PRブースを設置。 ・ 平成 29 年度実施済。 ・ <再掲>Aa (年 2 回発行)、森のしんぶん (年 4 回発行)
	<p>A-イ [継続] フリーマガジン「Aa」、 「森のしんぶん」の発行 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>Aa (年 2 回発行)、森のしんぶん (年 4

	<p>[継続] 県・市・NPO法人尼崎 21 世紀の森等によるホームページの更新 [○]</p> <p>[継続] 森づくり活動への勧誘のための各種 PR チラシ等の作成 [○]</p> <p>[継続] 中央緑地の整備の進展に合わせたイベント案内チラシ作成 [○]</p> <p>[継続] 缶バッジ、キーホルダー等の PR グッズの作成 [○]</p> <p>[継続] 森をイメージしたエコバッグの作成 [○]</p> <p>[新規] 郷土種グリーンフェスタ、大芝生広場を活用した森の運動会の開催（中央緑地） [○]</p> <p>[新規] あましん植樹祭と連携したラジオ番組公開放送 [○]</p> <p>A-ウ</p> <p>[継続] 企業協賛型の取組（フリーペーパー「Aa」の発行） [○]</p> <p>[継続] エコキッズメッセへの企業の出展 [○]</p> <p>[継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○]</p> <p>[継続] 森づくりに関わった人材、団体のデータバンク化 [○]</p> <p>[継続] アマフォレストの会の活動 [○]</p>	<p>回発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森のウェブマガジン等により広く情報発信。 ・<再掲>PR グッズ等の作成・配布により、森づくりに関わる人を増やすことができた。 ・森のグリーンフェスタ、モリンピックを年 1 回開催。 ・<再掲>PR グッズ等の作成・配布により、森づくりに関わる人を増やすことができた。 ・<再掲>森のグリーンフェスタ、モリンピックを年 1 回開催。 ・<再掲>年 2 回発行 ・<再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。 ・<再掲>平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森“において、除草・間伐活動を行う。 ・<再掲>森のフェスタで企業の従業員や家族の参加を目指して企業 PR ブースを設置。 ・ワークショップ、フォーラム等の開催により、森づくりに関わる人材等のデータ化ができた。 ・<再掲>月 2 回の森づくり定例活動への参加やエリア設定の森づくりの活動を開催。
--	--	--

	<p>[継続] 苗木の里親制度による県民のボランティア登録 [○] [新規] 尼崎の森ファミリークラブの設置 (中央緑地) [○]</p> <p>A-エ</p> <p>[新規] 森の子育てひろばの甲山森林公園や芦屋市総合公園への展開 [○] [新規] 中央緑地で育成した苗木の他施設への提供 [○] [新規] ビジョン委員と連携した生物多様性の森づくり [○]</p> <p>B-オ</p> <p>[継続] 中央緑地及び周辺地域の過去の写真等を収集・整理し、森構想や中央緑地の PR 等に活用 [○] [継続] メーリングリスト、ホームページによる情報共有 [○] [継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンを通しての情報共有 [○] [継続] 森の会議におけるワークショップ等の開催 [○]</p> <p>B-カ</p> <p>[新規] 「森の会議」のさらなる活性化方策 (近隣の大学や高校との連携など) の検討 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録制度等により、森づくりに関 ・ <再掲> 尼崎の森ファミリークラブ植樹会：年 1 回、40 組の親子を対象。 ・ <再掲> 尼崎の森中央緑地での取組を甲山森林公園や芦屋市総合公園へ展開。 ・ 余剰苗に限定し周辺施設に提供。 ・ ビジョン委員と連携したクロマツの移植。 ・ 中央緑地及び周辺地域の歴史情報として、過去の写真等を事業説明やイベント等で活用。 ・ 森の会議等の開催予定をウェブで公開、参加者の情報入手が容易になった。 ・ 勉強会等を通じて活動の前提となる基礎知識を共有化。 ・ 森の会議により県民や団体間のネットワークが強化。
--	---	---

目標 17.	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	
尼崎 21 世紀の森づくり行動計画	<p>取組</p> <p>B-イ</p> <p>[継続] 「森の会議」の開催 [○]</p>	<p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲> 月 1 回森の会議を継続開催。



環境

都市再生

産業

多様な主体

[継続] 森づくり体験講座等の開催 [○]

D-ユ

[継続] 森づくり定例活動等における見学会や種子採取、「森づくり体験講座」の実施 [○]

[継続] 中央緑地における森づくり定例活動 [○]

[継続] 「かんきょうモデル都市あまがさき探検事業」による小学4年生の環境学習等において体験プログラムを実施 [○]

[継続] 植樹会等へ参加した県民や企業へのアマフォレストの会による指導 [○]

[継続] アマフォレストの会による森づくり体験講座の開催 [○]

[継続] 尼崎信用金庫による「苗木の里親案内人」の養成 [○]

[継続] 森づくりや環境学習の指導者を養成するサポーター養成講座 [○]

[継続] 中央緑地における森づくり定例活動、エリア設定型森づくり活動及び苗木の里親植樹会 [○]

[継続] 尼崎信用金庫と県による森づくりの推進に関する協定の運用 [○]

[新規] 尼崎の森ファミリークラブの設置（中央緑地） [○]

[継続] アマフォレストの会などの活動と連携した生物多様性の森づくり [○]

[継続] 尼崎市の小学校等での環境体験学習や緑化指導 [○]

・<再掲>平成 27 年よりアマフォレストの会により開催

・成果を中央緑地の生物多様性の森づくりに反映。

・<再掲>月 2 回の森づくり定例活動。

・<再掲>あまがさき探検事業（小学校 4 年生対象）【平成 30 年度：35 校、3,151 人】

・<再掲>各種イベントやプログラム運営時に実施

・<再掲>平成 27 年よりアマフォレストの会により開催

・<再掲>森づくり定例活動、エリア型提携森づくり活動等の導入により、住民・企業・団体が継続的に維持管理に参画。

・<再掲>月 2 回の森づくり定例活動。

・<再掲>平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森“において、除草・間伐活動を行う。

・<再掲>尼崎の森ファミリークラブ植樹会：年 1 回、40 組の親子を対象

・<再掲>月 2 回の森づくり定例活動を開催。

・<再掲>あまがさき探検事業（小学校 4 年生対

<p>[継続] 中央緑地で尼崎市の小学3・4年生、中学・高校生を対象とした環境学習プログラムの実施 [○]</p> <p>D-サ</p> <p>[継続] 森づくりフォーラムや中央緑地での植樹会、各種イベントの開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎21世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等によるPR [○]</p>	<p>象)【平成30年度：35校、3,151人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<再掲>環境体験学習（小学校3年生）【平成30年度：10校、623人】 ・<再掲>その他、幼稚園児、小学生、中学・高校生の環境学習【平成30年度：697人】 ・<再掲>植樹会の開催や虫取り名人等のイベントの開催により、森づくりに関わる人の輪を拡大。 ・<再掲>Aa（年2回発行）、森のしんぶん（年4回発行）
<p>A-ア</p> <p>[継続] 森の会議の活動を通じたの情報収集 [○]</p> <p>[継続] 尼崎21世紀の森ウェブマガジンへのまちの情報の投稿 [○]</p> <p>[継続] フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等の発行 [○]</p> <p>D-オ</p> <p>[継続] 尼崎チャンネルガイド養成講座の開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎チャンネルガイドの会の活動 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<再掲>得られた情報等をもとに、森のウェブマガジンにより、臨海地域の魅力を発信。 ・<再掲>Aa（年2回発行）、森のしんぶん（年4回発行） ・<再掲>年1回開催。（3回連続講座） ・<再掲>チャンネルウォークを平成26年度から年間平均5回程度開催。
<p>B-カ</p> <p>[継続] 森構想に関する工場・事業所の意向を把握するためのアンケート調査等の実施 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<再掲>平成29年度実施済。

	<p>[継続] エコキッズメッセの開催 [○]</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、 「森のしんぶん」等による情報発信 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。 ・ <再掲>Aa (年 2 回発行)、森のしんぶん (年 4 回発行)
	<p>A-ア</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森 CI 計画 (ロゴタイプ、マーク、アイキャッチャー、基本カラー等) に基づく広報活動の実施 [○]</p> <p>A-イ</p> <p>[継続] フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」の発行 [○]</p> <p>[継続] 県・市・NPO 法人尼崎 21 世紀の森等によるホームページの更新 [○]</p> <p>[継続] 森づくり活動への勧誘のための各種 PR チラシ等の作成 [○]</p> <p>[継続] 缶バッジ、キーホルダー等の PR グッズの作成 [○]</p> <p>[継続] 森をイメージしたエコバッグの作成 [○]</p> <p>A-ウ</p> <p>[継続] 企業協賛型の取組 (フリーペーパー「Aa」の発行) [○]</p> <p>[継続] エコキッズメッセへの企業の出展 [○]</p> <p>[継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <再掲>計画の作成と多様な媒体を通じた活用により、尼崎 21 世紀の森づくりの認知度を高めた。 ・ <再掲>Aa (年 2 回発行)、森のしんぶん (年 4 回発行) ・ 森のウェブマガジン等により広く情報発信。 ・ <再掲>PR グッズ等の作成・配布により、森づくりに関わる人を増やすことができた。 ・ <再掲>Aa (年 2 回) 等各種広報誌を作成。 ・ <再掲>平成 27 年度から企業の協力により、中央緑地で 5 回開催。 ・ <再掲>平成 22 年度より職員約 1,000 名が尼崎の森中央緑地”あましん活動の森”において、除草・間伐活動を行う。 ・ <再掲>森のフェスタで企業の従業員や家族の参加を目指して企業 PR ブースを設置。

	<p>[継続] 森づくりに関わった人材、団体のデータバンク化 [○]</p> <p>[継続] アマフォレストの会の活動 [○]</p> <p>[継続] 苗木の里親制度による県民のボランティア登録 [○]</p> <p>[新規] 尼崎の森ファミリークラブの設置（中央緑地） [○]</p> <p>[継続] 「森の会議」の開催 [○]</p> <p>A-エ</p> <p>[新規] ビジョン委員と連携した生物多様性の森づくり [○]</p> <p>B-オ</p> <p>[継続] メーリングリスト、ホームページによる情報共有 [○]</p> <p>[継続] 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンを通しての情報共有 [○]</p> <p>[継続] 森の会議におけるワークショップ等の開催 [○]</p> <p>B-ア</p> <p>[新規] 「森の会議」のさらなる活性化方策（近隣の大学や高校との連携など）の検討 [○]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<再掲>ワークショップ、フォーラム等の開催により、森づくりに関わる人材等のデータ化ができた。 ・<再掲>月 2 回の森づくり定例活動への参加やエリア設定の森づくりの活動を開催。 ・<再掲>ボランティア登録制度等により、森づくりに関わる人をふやすことができた。 ・<再掲>尼崎の森ファミリークラブ植樹会：年 1 回、40 組の親子を対象。 ・<再掲>月 1 回森の会議を継続開催。 ・<再掲>ビジョン委員と連携したクロマツの移植。 ・<再掲>森の会議等の開催予定をウェブで公開、参加者の情報入手が容易になった。 ・<再掲>勉強会等を通じて活動の前提となる基礎知識を共有化。 ・<再掲>森の会議により県民や団体間のネットワーク強化。
--	---	---